

「U-22 審判員春季研修会」報告

岡山県 佐野生昂

■日程

2025年3月10日(月)～3月14日(金)

■大会

TRAUM CUP FESTA 2025 東日本 in SPRING

■会場

茨城県/鹿島ハイツスポーツプラザ
神宮ホテル

■参加審判員

北海道3名 東北1名 関東2名 北信越2名 東海2名 関西2名
中国2名 (植木大翔 佐野生昂) 四国1名 九州3名

■参加インストラクター・マネージャー・スタッフ

田淵量也氏 石川正樹氏 田中厚氏 蒲澤淳一氏 渡辺典子氏
高橋武良氏 名木利幸氏 村山一平氏

■割当

- ・3月11日 15:00 M6 @第1グラウンド
東北学院大学 vs 関西学院大学 B2 担当：副審 INS：石川正樹氏
- ・3月12日 9:00 M11 @第1グラウンド
順天堂大学 vs 拓殖大学 B2 担当：主審 INS：石川正樹氏
- ・3月13日 15:00 M49 @第4グラウンド
流通経済大学 vs 拓殖大学 B1 担当：主審 INS：渡辺典子氏
- ・3月14日 9:00 M55 @第5グラウンド
流通経済大学 vs 立命館大学 担当：主審 INS：石川正樹氏

■振り返り

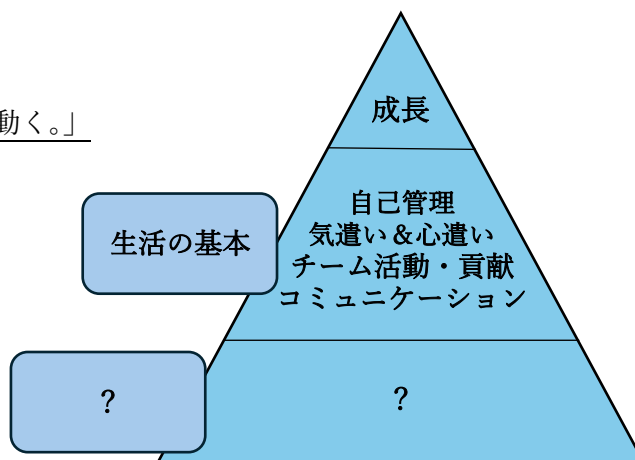
・ 3月10日

<研修>

テーマ 「察する。そして、動く。」

「察する。」とは？

- ①関心を持つ
- ②気づく
- ③想う
- ④考える



・ 3月11日

<副審>

- 姿勢
- ラインキープ、判定、タイミング
- △タッチラインを踏まない

・ 3月12日

<主審>

- 動き（幅、ポジショニング、スプリント）
- ボールが蹴られる前に動き出す
- 大事な時に前を横切られないポジショニング
- △DFがボールを回しているときに遠い（何か起きた時にゴールに近い）
- △シンプルにファウルを取る（された選手の意図を考えすぎない）

・ 3月13日

<主審>

- スプリント
- 動き出し
- △スプリント時にもっと R サイドに開く
- △シグナル（止まってシグナル）
- ※小さい体をどう大きく、きれいに見せるか

・ 3月14日

<主審>

- ポジショニング、幅、スプリント
- △ファウルの予測
- ※どっちの選手がファウルしやすい？

- ・その他、研修会等
 - PA 付近 スプリント→角度
 - FK マネジメント
 - ・ポイント
 - ・距離
 - ・ポジション
 - + α マネジメント

■最後に

この度は、U-22 審判員春季研修会に派遣して頂き、ありがとうございました。

まず今大会は、試合の運営も審判員が行いました。選手にとってももちろんですが、審判員にとっても、試合が行える環境があることは大変ありがたいことだと改めて感じることができました。今大会の審判チームのテーマである、「察する。そして、動く。」これは審判だけではなく、日常生活、集団生活の中でとても大切なことで、大会を運営していく中で活かすことができました。

大会に参加して、全国の同世代の審判員の中で、自分の通用したこと、しなかったことがはっきりしたので、良いところをたくさん盗み、自分の武器、引き出しを増やしていきます。

大会名である「TRAUM」はドイツ語で「夢」を意味します。夢に向かって一歩ずつ近づくための環境をたくさんいただいている今を大切にして、今後もチャレンジし続けていきます。

スタッフの皆様、インストラクターの皆様、全国の審判員の皆様、ありがとうございました。

